

# 町田通勤寮だより

NO 92  
2022年5月

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042(739)0491

## 巻頭言

寮長 三階 広明

新たな体制で新年度が始まりました。

「新型コロナ」が収まる見通しはまだ不明確で対応に苦慮していますが、引き続き利用者の皆さんに寄り添った支援を第一に通勤寮運営をしてまいりますのでよろしくお願い致します。

「共生社会」ということが言われる中で、「障害」の定義についても「医療モデル」から「社会モデル」という事がいわれています。そんな中で「通勤寮の訓練」とは何なのかと考えてしまう自分がいます。社会活動から疎外されていた障害者の「社会参加」（その一つとして就労が捉えられています）を指すなかで「障害者」側に必要な「力」を求め「訓練」をする場所として「訓練施設」が求められたのがスタートだ

と思っっています。一方的に「障害者」側に努力を求めることは正しいのでしょうか。「社会」の側が努力する部分はないのでしょうか。その時の「訓練」とは何を指すのでしょうか。一緒に考えていけたらと思っっています。

「発信力が弱い」とよく指摘されます。「どこまで、どんな伝え方で…」とつい考え過ぎてしまい、結果として何も伝えられない事が往々にしてあります。そのあたりの事を指摘されているのかな？とは思っているのですが、なかなか実践できていないのが現実です。申し訳ないことに、この「通勤寮だより」の原稿もそんな事どいつい時間がかかり、担当者には迷惑をかけています。

スポーツの世界で「地域密着」が言われ出したのはJリーグからでしょうか。その後が始まったプロスポーツでは当たり前のように「地域名」が入ったチーム名になっています。先日は、教員の負担軽減も含めた改革で「部活動の地域移行」（地域の指導者の協力を得る）について報道がありました。教育現場の実情は理解できませんが、児童・生徒の視点からの改革とは少し違うような気がしています。

今年度から保護者会は、年4回の開催に変更させていただきます。ただし、今年度については「新型コロナ」の感染状況を確認しながら開催について判断してまいります。皆さんにはご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。ご不明の点等はご遠慮なくお問い合わせください。

## オリエンテーション

支援員 佐々木 宏典

この時期に入寮される利用者さんの多くは、3月に学校を卒業され、4月から新卒者として仕事が始まる方です。今まで何年も同じ環境・同じ場所に通っていた方からすると、新しい環境・ルール・仕事・生活と新しい尽くしの4月となります。そんな彼・彼女らが安心・安全に新生活をスタートするにもルールが必要です。オリエンテーションでは、通勤寮を利用するにあたって必要なルールや注意事項をお伝えしております。なぜそのルールが必要なのか、今後自立するのに必要な事としてどういった事に気を付けなければならないのか、そんなことをお伝えしているのですが、どうしても長い時間になってしまい、皆さんの集中力が限界に・・・というのが現状です。大切な事なので伝えなくてはならないのですが、集中力と時間の折り合いが難しいところです。来年は数回に分けて、それぞれ行う事も検討しております。必要だから行うのですが、それだけでなく、必要だからこそ理解していただけるよう通勤寮として工夫をしていければと思っています。

## オリエンテーション2部

支援員 副主任 川瀬 朝日

4月3日、毎年恒例のオリエンテーションを開催させて頂きました。右記のオリエンテーションは新入寮者の方を対象に、2部は2年目の方を対象に行いました。2年目の方が避けて通れないもの…、そう、それは地域移行です。2部では地域移行の話を中心にテーマにお伝えさせて頂きました。

た。地域移行した卒業生2名の事例を元に、この2名の事例から見える事を掘り下げてお話をしました。部屋探しにしてもグループホーム探しにしても運とタイミングの要素があること、我々は可能な限りの情報提供や、サポートはした上で、あくまでも最終的に決めるのは支援者でなく「自分」であることなどもお話ししました。

自立 とは本来、生涯を通じてのテーマとなるかと思えます。そして、自分が今後生活する場所も含め、自己決定 とはすごく難しいことだとは思いますが。しかし、自分で決め、やってみることで、成功 失敗の蓄積によって、経験が積み重なり、その過程自体がきつと財産になっていくと考えています。人から与えられた物ではなかなか得られない事もあるかと思えます。

支援者が転ばぬ先の杖 になるがあまり、経験するはずだった機会が失われないように、各々が目指す自己実現に向かって、退寮まで伴走させていただければと思います。

\*翌ページからは今年度の通勤寮職員のプロフィールを掲載しております。

1 出身地 2 入職日 3 入職のきっかけ 4 リフレクシユ法 5 仕事をするにあたっての抱負 でお届けします。

## 事務職員 プロフィール

服部 千穂

- 1 生まれは青森県弘前市、育ちは青森市、京都市にも数年住んでいたことがあります。
- 2 2018年4月1日
- 3 事務職希望で求職活動中、未経験の福祉業界の事務員募集が目にとまり興味を湧いたため。
- 4 愛猫とゴロゴロして癒してもらうのが至福の時間です。また、お花が好きなので、ガーデニングで癒されます。街を散歩しながら、美味しいお店等を散策したりドライブして道の駅で面白い物等するのが好きです。
- 5 職場に必要な人材と思っていただけるよう、日々努力と思っております。

## 調理職員 プロフィール

栄養士・調理員 遠藤 小百合

- 1 神奈川県 相模原市
- 2 2015年6月16日
- 3 約20年振りに地元に戻ることに、新しい住居の近くで仕事探しをしていたところ、やってみよう！と思えるお仕事に巡り合えました。日本の南や北で経験してきたことを生かせるかな、と思い 応募させていただきました。
- 4 大人になってから始めた硬式テニス・最近デビューしたマラソン・美味しいものの食べ歩き。
- 5 食事の大切さ・ありがたさを伝えることが出来たらとても嬉しいです。古き良き時代の食事、いま流行りの食事を取り入れながら、あぁ通

勤察のごはんが食べたい！と利用者さんに思ってもらえるように、微力ながら頑張っていきたいと思えます。

調理員 高橋 典子

- 1 岐阜県
- 2 2018年8月16日
- 3 学校病院等で食事の提供をしていた事があり、これまでの経験を活かせる今の職に就いています。
- 4 キャンプ、美味しい物を食べる事、音楽鑑賞。
- 5 利用者さんの笑顔が見られる様に日々努力してまいります。

調理員 富田 千亜希

- 1 神奈川県
- 2 2019年4月
- 3 好きな料理を学ぶことが出来るのと、家から近いやすい距離だった事です。
- 4 食べる事・寝る事・遊ぶ事(笑)。
- 5 得意料理を増やしていきたい。

調理員 大橋 とも子

- 1 東京都 港区
- 2 2022年2月1日
- 3 昨年4月まで約8年間福祉施設でフルタイムで調理の仕事をしていましたが、還暦を迎え一切区切りをつけた後、短時間での仕事をとってみたいところ、求人が目にとまりました。
- 4 御朱印巡り・孫や犬との散歩・ガーデニング。
- 5 お仕事に出掛ける前の利用者さんが、美味しくホッとできる朝食を撰

って1日が始められるようなお手伝いをしていきたいと思っております。

分に目を配りながら、ちょっとだけ無理をして頑張りたいと思います。

## 支援職員 プロフィール

支援員 浅田 恵理子

主任支援員 大熊 祐二

- 1 東京都
- 2 2011年4月1日
- 3 飲食業界からの転職を考えた時に、困っている人の手助けができる仕事をしたいと考えたのがきっかけです。
- 4 散歩。スポーツ観戦全般
- 5 仕事に対する豊富・違う部署からの異動で、まだまだ分からない事も多いですが、一日も早く利用者の皆様のお手伝い出来るよう頑張りますので宜しくお願いします。

- 1 東京都
- 2 2009年9月1日
- 3 同じ福祉の仕事をしていた身内からの紹介。採用された時はGHの世話をしていました。
- 4 映画鑑賞、音楽鑑賞。たまに自己満足でピアノで遊んでいます。
- 5 常にご利用者さんの立場に立って考えられるようにと意識していますが、なかなか難しさを感じています。コロナ自粛などで、どうリフレッシュすればいいのかわからない方も多く、身近でできる事を提案してストレスを溜めずに仕事も公休日も充実した生活を送れるように支援して行きたいと思っています。

支援員 佐々木 宏典

副主任支援員 川瀬 朝日

- 1 北海道
  - 2 2011年4月1日 だったと思います…
  - 3 親が福祉の仕事をしていたこともあり、漠然と福祉の仕事に就きたいと思っており、福祉系の大学に進学しました。大学卒業が迫り、就職活動の中で、採用していただきました。
  - 4 自転車、登山、キャンプ、筋トレ、音楽、おいしい日本酒を求め、酒屋巡り。
- ※最近の勝手なイチオシ 高知県の「亀泉」というお酒がとてもフルーティーで美味しいです。生酒で、酵母が… 止まらなくなるので割愛します…。

- 5 今年には法人内の人事異動もあり、職員が変わりました。いろいろな部

- 1 神奈川県横浜市鶴見区で生まれ育ちました。今は横浜市緑区に住んでいます。意外と便利です。
- 2 2020年3月16日
- 3 前職は2社経験しており、両方ともスーパーマーケットで勤務をしていました。前職で過労のせいかな身体を壊して休職、その後こちらでお世話になるようになりました。大学生の頃に障がい児童支援のサークルに所属しており、アルバイトでも子どもにも勉強を教えていたので、そういった人と関わりながら共に成長して行ける仕事を探していた所、当法人の求人を見つけこれだと思い入職に至りました。
- 4 漫画・ゲーム・アニメが好きなのでそれを見ながらゴロゴロするのは結構好きです。たまくにスパでぼーっとしていることもあります。
- 5 あっという間に入職して2年が経ちました。今年には職員の入れ替わり

もあり、今まで以上に気を引き締めて支援・業務にあたりたいとおもっております。自分がしている仕事が「何に必要な仕事なのか」「利用者さんの為になっているのか」を忘れずに初志貫徹の思いで仕事に取り組んで参ります。

支援員 河口 憲明

- 1 東京都
- 2 2021年1月1日
- 3 以前は、自動車業界と通信業界で合計20年近く営業職に就いていました。訪問先で障がい者のみなさんとふれあい、支援の仕事に関わりたいと思うようになりました。ご縁があつてつるかわ学園に入職し、このたび通勤寮へ着任となりました。
- 4 マラソン。コロナ前は食べ歩き。食い倒れるまで食べていました。
- 5 早く通勤業務を習得し、利用者支援が出来るよう一生懸命勉強し頑張ります。どうぞよろしく願います。

支援員 石田 順子

- 1、東京都 町田市
- 2 1995年(平成7年) 4月1日 つるかわ学園
- 2009年(平成21年) 11月1日 多機能型事業所(就労移行・生活介護)・ブリーチージュのづたの空
- 2016年(平成28年) 4月1日 つるかわ学園
- 2019年(平成31年) 4月1日 町田通勤寮
- 3 就職難と言われた時であり、学校側から地元の職場(異業種)をと紹介されたのがきっかけでした。
- 4 コロナ禍以前は、ご飯の食べ歩きと、レイトショーの映画+美味しいお

酒を飲み歩く事。この頃の楽しみは、宿直明けにランチです。お酒は専ら晩酌となり健康的?になりました。(笑)

5 利用者の方々が気持ちよく地域に出て生活出来るように支援して行けたらと思っております。どうぞよろしく願います。

## 行事食 紹介



上：ホワイトデー  
下：オリエンテーション

## 今後の主な予定

- 5月31日(日) スマホ講座
- 6月 身だしなみ講座 保健講座(予定) /
- 7月10日(日) 保護者会(状況により変更することがあります)

◆町田通勤寮だよりのバックナンバーはつるかわ学園公式HPよりご覧になれます。